

## オゾン発生器XT - 12000

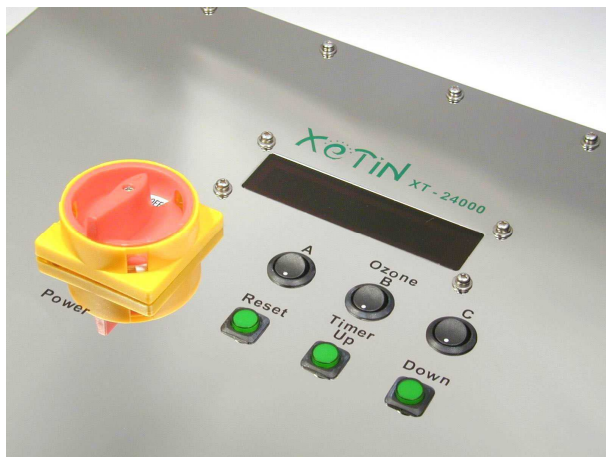
オゾン発生器XT - 12000(以下ユニット)は、とても画期的な機器です。それは特許を取得したコロナ放電式オゾン発生器によりX<sup>レ</sup>E<sup>イ</sup>T<sup>チ</sup>I<sup>ン</sup>オゾンと名付けたオゾンを生成します。そのオゾンを利用することにより空気清浄だけではなく、無人環境下で悪臭や雑菌に汚染された場所(～1,348m<sup>3</sup>)に対し、「高濃度オゾンショック処理」による脱臭や殺菌もできます。(使用可能な容積はその場の環境に影響されます。)

**\*注意!**このユニットは、必ず、人間、動物、植物の居ないことを確認の上実行してください。

### 設置場所

オゾン発生器XT - 12000(以下ユニット)は、オゾン放出を最大限にできるよう、障害物などで吸気や排気が遮られない場所に設置します。その際、扇風機等の送風機はオゾン拡散に大変役立ちます。このユニットは精密機器です、ホコリやゴミがある場所あるいは湿度の高い場所から遠ざけてください。特にホコリがユニットに侵入しやすい床に直置きすることは、絶対に避けてください。又、オゾンは高温多湿だとすぐに分解してしまい、オゾンの生成効率が悪くなります。オゾンは空気よりも重いので、転倒などの安全性を考慮し可能な限り高い位地に設置してください。通風システム等の室内へ空気を送る循環エアダクトの中へユニットを接続させることは、均一にオゾンを循環させる方法です。

### 操作方法



1. 時計回りに「Power」ダイヤル(黄色い台座にオレンジ色のダイヤル)を回してユニットを起動させます。表示画面には、1個の「作動」発光ダイオード(以下LED)と6個の「オゾン出力」LEDライトが点灯し、ユニットが作動します。この点滅するLEDはユニットが作動している事を表し、毎秒1回の速度で点滅します。  
2. どの組み合わせにおいても、「A」、「B」、「C」の「Ozone」スイッチを押し上げて、4,900mg/時、9,900mg/時、14,900mg/時などのオゾン出力レベルを選択します。もし、「Ozone」スイッチを1つだけ押し上げた場合のオゾン出力は4,900mg/時、スイ

ッチが2つならば出力は9,900mg/時、3つなら14,900mg/時となります。

各「Ozone」スイッチは高電圧変圧器各々の2つのLEDにより表示されます。

もしLEDライトのうちの1個でも点灯しなくなった場合は電源を外し、それから前方の蓋を開けて、該当するヒューズを点検確認してください。

### タイマー設定

1. タイマーの設定: 「Timer」の「Reset」ボタン( 左下部、緑色)を一度押すと、表示画面の時間が点滅します。
2. 「Timer」の「Up」( 中央下部、緑色)か「Down」ボタン( 右下部、緑色)を押してユーザーの希望する運転時間を「時間単位」(1～24時間)で選択します。
3. 時間をセットするために「Reset」ボタンを再度押します。
4. 表示画面の時間数が点滅していなければ、時間は設定されました。もし表示画面の時間数が点滅していると、タイマーは設定されていません。「Reset」ボタンを押してください。
5. ユーザーは、タイマーを1時間から24時間まで、もしくは連続作動モードに設定することができ、設定した時間が来ると、ユニットは自動的に停止します。もしユーザーが連続作動モードに設定した場合、表示画面左側に「C」が表示されます。

**高濃度のオゾン発生下での作業においては身体に悪影響を及ぼしますので、常にタイマーを使用す**

る事をお勧めします。ユニットの作動中は、該当場所に人間・動物・植物を近づけないでください。又、ユニットの作動停止から少なくとも2時間は該当場所に入らないでください。表示画面の数字が点滅している場合は、タイマーはセットされていません。タイマーのセットを確認するために、「Reset」ボタンを押してください。

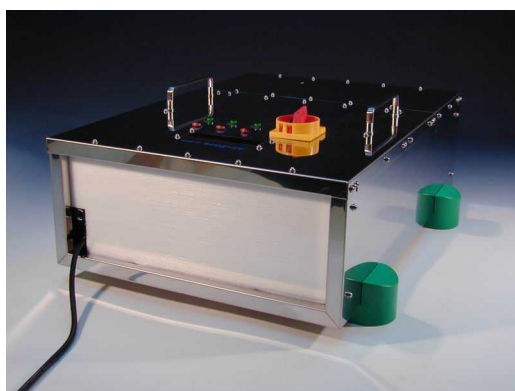
タイマーによって自動的にユニットが停止した後、再度、ユニットを作動させたい場合、まず「Power」ダイヤルを切った後、再度、起動させ、タイマーを設定してください。

## お手入れ

**\*注意:**お手入れの前には、必ずユニットの電源を外してください。

ユニットのステンレス製の外部は湿ったペーパータオルなどで拭いても構いませんが、洗剤は使用しないでください。

ユニット本体は鏡面仕上げのステンレス製ですが、大量のオゾン排出により、時間の経過とともに、ステンレス部分に変色しますが、性能には影響はありません。



ユニットの背面にある吸気口には、特許を取得した3M社製静電気式特殊エアフィルター(以下フィルター)が設置されており、ホコリがユニットに侵入するのを防いでいます。定期的にフィルター表面に付着したホコリを電気掃除機で吸い取ってください。通常、2～3ヵ月でフィルターが灰色になりますので新しいフィルターと交換してください。古いフィルターは再利用できません。尚、フィルターの使用可能期間はユニットが発生したオゾン量によって変化します。

どのユニットにも2枚の交換用フィルターが付属しています。指定されたフィルターのみをお使いください。フ

ィルターがなくなりましたら、発売元よりフィルターをお買い求めください。

フィルターがユニットに吸気できなくなるほど汚れた場合は大変危険です。ユニットは熱をおび変圧器が異常高熱の為発火する恐れがあります。

この場合、保証されませんので、常に清潔なフィルターをご使用ください。

オゾン発生器XT-12000は、特許を取得したコロナ放電式オゾン発生器(以下オゾン発生器)を使用しており、ほとんどお手入れする必要はありませんが、2ヵ月おきにエア・コンプレッサーでオゾン発生器からホコリを吹き飛ばしますと、より一層長持ちさせることができます。

**\*注意:**これらのお手入れの際、決して、ユニットの隙間等の穴に物を突っ込んだりしないでください。高圧電流が流れていますので、感電する恐れがあります。

## オゾン発生器の清掃

長時間の使用によりコロナ放電式オゾン発生器(以下オゾン発生器)が汚れてきた場合、オゾン発生量が減少するので、清掃が必要になります。

最も簡単にオゾン発生器を清掃する方法は、少なくとも1時間以上連続してユニットを作動させる事です。これによって、オゾン発生器に蓄積されたホコリが焼却されます。

オゾン発生器の汚れがひどい場合は、オゾン発生器を清掃するために、まず、ユニットから電源を外し、次にダクトをユニットに取り付けているネジを外します。

「**お手入れ**」で記載した通り、オゾン発生器のホコリはエア・コンプレッサーで綺麗に吹き飛ばす事ができますので、完全にオゾン発生器からホコリを吹き飛ばしてください。

ホコリを吹き飛ばした後もオゾンの排出量が低い場合は、部品の分解掃除が必要になります。(4頁の「**コロナ放電式オゾン発生器の清掃**」を参照してください。)

装置の上蓋を外すと、オゾン発生器に直接手で触れる事ができ、分解が簡単にできます。その際、分解の順序通りに部品を並べてください。

オゾン発生器の外側のグリッド(電極板)は歯ブラシなどで磨く事ができます。

オゾン発生器のガラス部分を割らないよう、注意してください。その後すべての部品を乾燥させてください。各部品に湿気が残っている場合、ショートし、高電圧変圧器が爆発する危険があります。よって、各部品が完全に乾燥していることを確認してください。

掃除が終了したら、オゾン発生器を分解した逆の順序で十分に注意を払って組み立ててください。その際、必ず分解前の元通りの状態であることをご確認ください。

この清掃した後でも適切なオゾン量が得られない場合、オゾン発生器外側の電極板を交換する必要があります。

比較的安価なコロナ放電式オゾン発生器と高電圧変圧器は数年間使用できる耐久性がありますが、置かれた環境による経年劣化や使用可能期間はユニットが発生したオゾン量によって耐用年数が変化します。部品交換は、発売元にお問い合わせ下さい。

**\*注意:** オゾン発生器を取り外す前には必ず電源を外し、確実に電源が切れていることを確認して下さい。ユニット内の高電圧変圧器は平均 5,000V の高電圧が出力されています。

### 保証内容

1. すべてのオゾン発生器 XT - 12000 は、出荷の前に、厳格な品質管理がされており、製造の欠陥に対して 2 年間保証されています。

2. 欠陥が製造過程によるものと判断された場合、<sup>レイチン</sup>Xetin 社の負担にて修理・交換をいたします。

3. この契約はユーザーの誤用による故障は保証しません。

4. 3M 社製静電気式特殊エアフィルターは消耗品ですので保証には含まれません。

5. コロナ放電式オゾン発生器は 6 ヶ月の保証期間が付いています。

6. 修理・交換のための送料については、ユーザー負担となります。

ユニットはしっかりと梱包して保険をつけてください。購入時、ユニットが入っていた内箱は、輸送に耐えるほど丈夫ではありませんので再利用は避けてください。

尚、修理は、弊社にて修理受付事務が完了した場合にのみ行なわれます。

<sup>レイチン</sup>Xetin 社及び発売元は、ユーザーの使用もしくは誤用に起因する損害は一切保証しません。

以下の事項を特に注意してください。

\* ユニットの使用中は、人間・動物・植物を該当場所に近づけない事。

\* タイマーが切れて最低 2 時間は該当場所へ入らない事。

### ユニットの詳細

定格電圧: AC100V

周波数: 50 / 60Hz

プロテクションヒューズ: 1A、2A、3A、6A

定格電流: 1.9A

消費電力: 200W

電圧出力: 平均電圧 5,000V

オゾン生成量: 4,970mg / 時、9,940mg / 時、14,900mg / 時

オゾン濃度: 50ppm / 180CFM

オゾン気流レート: 180CFM

ファン気流速度: 230CFM

騒音レベル: 61dB

寸法: 668mm (奥行き) X 350mm (横) X 230mm (高さ)

重量: 15kg

使用の目安: 空気清浄 497m<sup>2</sup> ~ 994m<sup>2</sup> (1,243m<sup>3</sup> ~ 2,485m<sup>3</sup>)

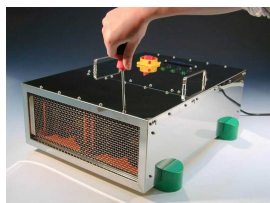
高濃度オゾンショック処理 ~ 539m<sup>2</sup> (~ 1,348m<sup>3</sup>)

\* 使用場所の温度や湿度などの環境により変化します。

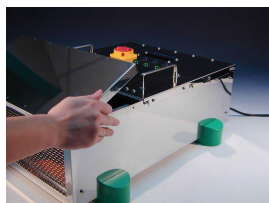
**取扱の前に必ずユニットの電源を外してください！！！！  
高電圧変圧器は 5000 ボルトで作動しています！！！！**

## コロナ放電式オゾン発生器の清掃

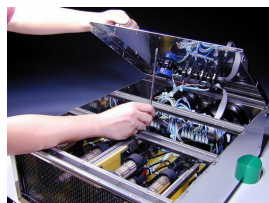
コロナ放電式オゾン発生器をユニットから外すには



上部カバーのネジを外します。



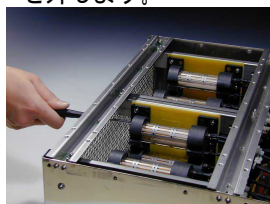
上部カバーを外します。



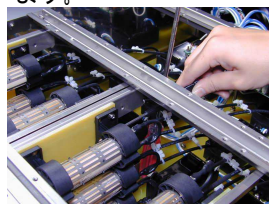
2枚目の上部カバーも外します。



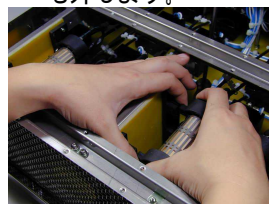
発生器のネジを外します。



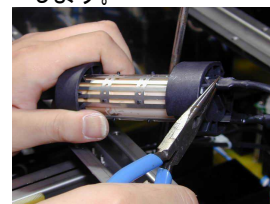
発生器のネジを外します。



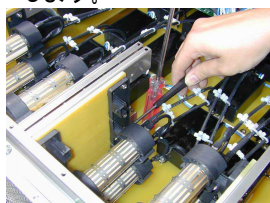
発生器のネジを外します。



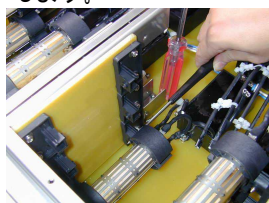
発生器を基盤から取り外します。



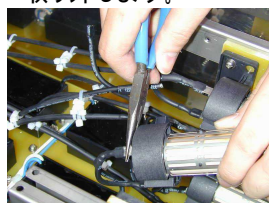
発生器をコネクターから外します。



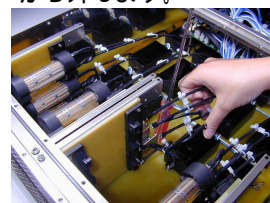
2本目の発生器を外します。



3本目の発生器を外します。



発生器をコネクターから外します。



すべての発生器を取り外します。

コロナ放電式オゾン発生器を掃除するには

(石油製洗浄液とハブラシを使用してください、くれぐれも水洗いはしないで下さい。)



発生器の頭部と底部を外します。



頭部と底部を洗います。



次に電極管を洗います。



最後に電極板を洗い乾かします。

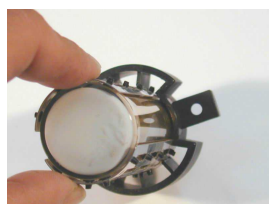
コロナ放電式オゾン発生器の組み立て方



電極管に底部を取り付けます。



次に電極板を取り付けます。



電極板が正しく取り付けられているか確認します。



頭部を取り付ければ完成です。